



第2回 富山県

がんゲノム医療研修会

日時: 2018年6月9日(土曜日) 10:30~

会場: 富山大学附属病院 総合臨床教育センター2階 多目的研修室

対象: 富山県内の医師、歯科医師、看護師、薬剤師、
その他がん診療に携わるすべての人

演題

がんゲノム医療 の臨床実装について

事前申込不要
当日 直接
お越しください

講師

京都大学大学院 医学研究科
腫瘍薬物治療学講座 教授

武藤 学 先生



ゲノム解析技術の進歩により、次世代シーケンサー(NGS)による網羅的遺伝子解析が可能になり、個々の症例におけるゲノム情報から、最適な薬をリストアップするゲノム医療の時代に突入した。特に、がん領域では、がん組織からのゲノム解析(クリニカルシーケンス)に基づいた Precision Cancer Medicine が欧米を中心に急速に発展し、さらには Beyond Genomic Medicine に進もうとしている。我が国ではがんゲノム医療中核拠点病院と連携病院が選定され、保険診療の中で実施する体制が構築しようとしている。われわれは、わが国ではじめて、米国 CLIA 認証を受けたがんゲノム検査(OncoPrime)を構築し、平成 27 年 4 月より臨床導入した。これまで 200 例以上が自由診療で検査を受け、actionable mutation は約 90%に検出され、druggable mutation も約 50%で検出されるが、多くが適応外の薬剤である。治療は、院内の適応外・未承認薬等管理室およびおよび評価委員会での審査にて承認後実施している。二次的所見の頻度は約 3%であったが、遺伝カウンセリング体制の構築も課題である。本講演では、がんゲノム医療の臨床実装の現状と将来展望、そして課題について議論したい。

〈主催〉 富山大学附属病院集学的がん診療センター、北信がんプロ
〈後援〉 富山県がん診療連携協議会

〈お問い合わせ先〉 富山大学附属病院 臨床腫瘍部(集学的がん診療センター)
〒930-0194 富山市杉谷 2630 TEL:076-434-7808/FAX:076-434-5112

